

# 雨の強さと降り方の目安

突発的かつ局地的な集中豪雨に関する情報は入手することが困難です。ふだんから雨の様子をチェックしましょう。

1時間雨量	予報用語	人への影響	屋外の様子・車に乗っていて	災害発生状況
10~20	やや強い雨	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	地面一面に水たまりができる。	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。
20~30	強い雨	傘をさしていてもぬれる。	ワイパーを速くしても見づらい。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30~50	激しい雨		道路が川のようになる。 高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50~80	非常に激しい雨	傘は全く役に立たなくなる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80~	猛烈な雨		車の運転は危険。	雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。

単位：(mm)

資料：気象庁（H14.1一部改正）

## こんな時はどうすればいいの？

### ●情報の種類・状況●

#### 気象注意報（大雨・洪水注意報）

◎大雨や洪水によって災害の起こるおそれがある状況

#### 気象警報（大雨・洪水警報）

◎大雨や洪水によって重大な災害の起こるおそれがある状況

#### 避難準備情報

◎災害時、特に避難行動に時間を要する方（お年寄り、子ども、障害のある人、病気の人など）が避難行動を開始しなければならない段階で、人的被害の発生する可能性が高まった状況

#### 避難勧告

◎通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階で、人的被害が発生する可能性が明らかに高まった状況

#### 避難指示

◎前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状況

◎人的被害が発生する可能性が非常に高まった状況

### ●みなさんの行動●

◎テレビ、ラジオなどで**気象情報などに注意**しましょう。

◎ホームページなどで**河川の状況を確認**しましょう。

- ・川の水位が急に増す。
- ・川の流れが急激に速くなる。

◎**外の様子に注意**しましょう。

- ・道路の側溝から大量の水があふれる。

◎災害時、特に避難行動に時間を要する方（お年寄り、子ども、障害のある人・病気の人など）は、**避難所などへの避難行動を開始**してください。

◎避難を支援する方も、**支援行動を開始**してください。

◎通常の避難行動ができる方は、家族などとの連絡、非常持出品の用意など、**避難準備を開始**してください。

◎通常の避難行動ができる方は、**避難所などへの避難行動を開始**してください。

◎**すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難所へ移動せず、浸水していない近くの高い所へ一時的に避難**するなどの行動を取ってください。

◎避難勧告などの発令後で避難途中の方は、**確実な避難行動を直ちに完了**してください。

◎また避難していない方は、直ちに避難行動に移るか、**すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難所へ移動せず、浸水していない近くの高い所へ一時的に避難**するなどの行動を取ってください。

## 浸水被害への対策

### 排水を控える

大雨時には家庭からの排水は控えましょう。一軒一軒の家の排水が集まれば、相当な水量になります。

### 水防の準備

土のうなどを用いて、家への浸水を防止しましょう。

### 家庭での簡易水防工法例

小規模水災で水深の浅い初期の段階で行えるものとして、簡易な土のうや水のうを置いて浸水を防止する方法があります。

#### ■簡易水のうの作り方

45リットル程度のゴミ袋を二重にし、中に半分程度水を入れます。（持ち運べる重さにする）

#### ■簡易水のうの利用方法

隙間なく並べて浸水を防ぐ。



段ボール箱に入れると持ち運びにも便利。



※水のうは、二段重ねができないので10cm程度の水深が限界です